

# Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/10/31

## Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	37.95	0.11
JPY/THB	0.2573	-0.0013
USD/JPY	147.60	1.31
EUR/THB	37.80	0.14
EUR/USD	0.9965	0.0001
USD/CNH	7.267	0.015
SGD/THB	26.89	0.05
AUD/THB	24.33	-0.08
USD/INR	82.47	-0.03
USD Index	110.75	0.16

## Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.694	-0.019
10Y (THB)	3.212	-0.019
5Y (USD)	4.184	0.124
10Y (USD)	4.012	0.094

## Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,644.8	-15.9
WTI (Oil)	87.90	-1.18
Copper	7,550.0	-214.5

## Stock

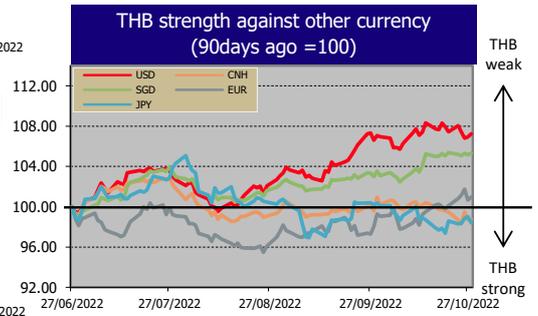
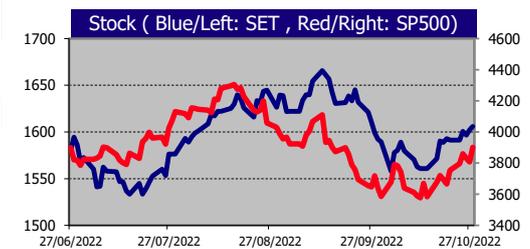
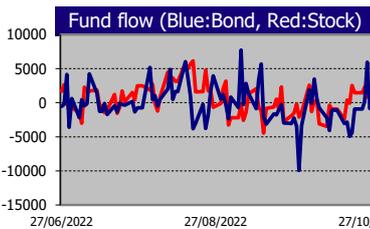
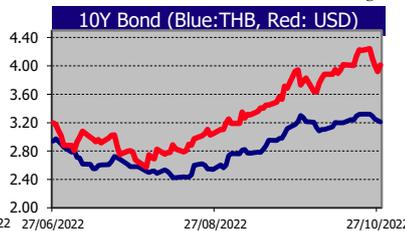
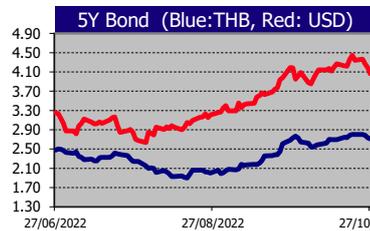
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,606.07	3.74
NIKKEI (JP)	27,105.20	-240.04
DOW (US)	32,861.80	828.52
S&P500 (US)	3,901.06	93.76
SHCOMP (CN)	2,915.93	-66.98
DAX(GER)	13,243.33	32.10

## Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	2,881	419.0
Bond net flow	903	1781.8

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



## Yesterday's market summary

### ●ドルパーツ

28日のドルパーツは上昇。前日の米金利低下によるドル売りが先行し、正午付近には同日安値を示現。しかし、週末を前に積極的に買い進められにくかったことや、独の地方CPIをはじめ欧州各国のCPIが上振れしたことが確認されて、欧州・米国の金利が上昇するとドルパーツは反転上昇。海外時間でも米金利のペアラットニングが進む中で38パーツ台に到達。NY時間終盤には上げ幅を縮小して37.95で終えた。

### ●ドル円その他

28日のドル円は大きく上昇。146円前半で取引を開始し、日銀会合で金融政策の現状維持決定後は思惑が交差して1円程度上下したが、146円前半を中心とした動き。海外時間、欧州各国の強いインフレを確認して欧州金利が上昇すると、米金利にも金利上昇が波及。ドル買いが強まり、147円後半まで足早に上昇した後は軟調な米経済指標を受けて若干調整が入るも、147円半ばで底堅い展開を続けて147.60で引けた。

## Bangkok Dealer's Eye

先週はハト派な米高官発言に加え、カナダ中銀が金融政策委員会にて予想を下回る金利引き上げ幅に留まったため、欧米を中心に金利上昇のピークアウトが意識されやすく、週末にかけ金利が低下する状況でした。しかし、28日に発表された独の地方CPIをはじめ、EU基準CPIや仏CPI等EU各国で引き続き10月も高い物価上昇圧力を受けていたことが確認される事態に再び欧州や米国の金利は上昇しました。そのため、約3週間ぶりの安値圏にあったドルパーツは再び38パーツ近辺へと引き戻されています。今週は月末月初で重要指標が集中しているうえに、米FOMCも控えており、週半ば以降に動きづく展開となるため、期近で為替取引が必要なお客様におかれましては、早めの手当も検討していただきたいと思います。(鈴木)